

# ある町の天気相談所

Vol.33  
2020.9.4

令和2年9月号

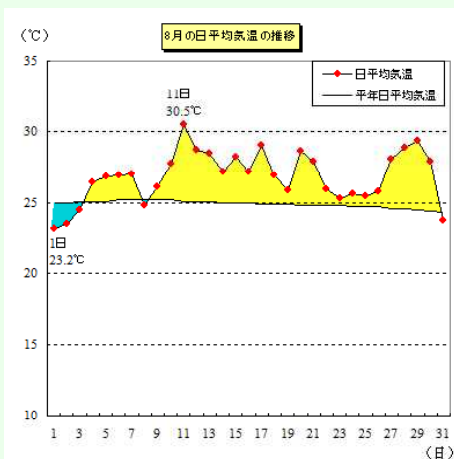


8月18日、日立市役所から虹が観測できました。市役所付近では雨が降っていませんでしたが、雨雲が市内を通過し、海上に抜けたところで、上空の雨雲に太陽の光が当たったようです。



## 8月の気候

8月の月平均気温は26・8℃と、平年よりかなり高く、月平均気温の高い方からの記録でも歴代3番目に高い気温となりました。高気圧に覆われ、晴れの日が多かったため、月合計日照時間は289・2時間と8月として最も多くなる一方、雨の日が少なかったため、月合計降水量は8・5ミリ、平年の6%と、8月として3番目に少なくなりました。



## 1カ月予報 (気象庁発表)

9月は、天気は数日の周期で変わり、曇りや晴れの日が多く、気温は平年より高く期間の前半はかなり高くなる見込みです。降水量及び日照時間については、ほぼ平年並みの予想です。



## 8月のお天気解説

8月の暑さ

梅雨明け後、太平洋高気圧に覆われることが多く、全国的に気温が上昇する日が多くなりました。8月17日、静岡県の浜松特別地域気象観測所では、41・1℃を観測し、2018年7月23日に埼玉県の熊谷地方気象台で観測された記録と並び、全国での最高気温の高い記録1位となりました。

日立市においても、8月11日に37・6℃の最高気温を観測。歴代3位の高い気温でした。最高気温が35℃を上回る「猛暑日」は1日、30℃を上回る「真夏日」は13日ありました。

8月29日の最低気温27・0℃は観測開始以来、最も低い最低気温でした。また、8月17日と28日の26・9℃は歴代2位、8月12日の26・7℃は歴代5位となるなど、朝も気温が下がらない日が多くなり、月平均最低気温は24・0℃と過去2番目に高く、朝の最低気温が25℃を下回らない「熱帯夜」は13日を数え、8月として最も多くなりました。



## 天気用語の基礎知識

### 熱帯低気圧

日本付近で発生する温帯低気圧と違い、熱帯や亜熱帯で発生する低気圧。規模の大きなものから小さな物まで様々な大きさがあり、夏季を中心に、南の海上から本州付近まで北上してくる物もあります。中心付近の風速が約17メートル以上のものを、台風やハリケーンともいいます。暖かい海面から供給された水蒸気が雲粒になるときに放出される熱をエネルギーとして発達します。

### 神峰の山から

にわか雨のあと、日ざしが出てきた場合、太陽を背にして立つと虹が見られることがあります。今年の8月も2回ほど観測しました。雨が少なかった7月と比べ、8月は降水量が少なくなりました。にわか雨の影響を受けることがあった、西部支所や諏訪スポーツ広場では月合計降水量が20ミリを超えましたが、海沿いの観測点では10ミリを下回ったところもあります。7月までは降水量が多かったため、年間の8月までの合計降水量は平年を超えています。月により差が大きいため、渇水の心配もありました。適度な雨を期待しますが、なかなかうまくいかないものです。